

フリステWalker

個別指導学院フリーステップの情報満載



入試情報室より

教科(科目)が変わる?

2018年 首都圏難関私大系列中学校入試分析より

12月受験直前の重要ポイント

受験生の心得

中学受験ガイドンス

〈受験準備回〉

2019 **1**月
【第123号】

Congratulations!

点数アップ・

2018年も点数アップ・高得点獲得

高得点獲得おめでとう!!

の知らせが続々と報告されています! 年間掲載数4,501件

(2017年5月17日~2018年5月2日広告掲載数)

大幅点数UP

関西

関東

高得点獲得

関西

関東



★★★★ がんばりは「成果」になって現れる!! キミも続け 点数アップ! ★★★★★

ホームページにも
多数掲載中!!



携帯からでも
合すく
チェック!

フリーステップ 検索

教科（科目）が変わる？

入試情報室 藤山 正彦

最近頂いたアンケートの中で、科目、教科についても少し詳しく知りたいというお声を頂戴しましたので、2年ほど前に掲載した内容ですが、リニューアルしても一度掲載したいと思います。今回は「ぶち教育学」でも教科の変遷について掲載していますが、「入試情報室より」では未来の変更点、「ぶち教育学」では変遷の歴史つまり過去の変更点について書いていきたいと思います。

今回の指導要領の改訂は高校での科目の変更が多く、それに伴って大学入試科目も変更されます。小学校では平成32年（2020年）、中学校では平成33年（2021年）、高等学校では平成34年（2022年）から順次適用されますので、今の小6が全面移行の学年となり、2020年の大学入試改革よりも大きな変更がこの学年で行われることになります。まず、2016年8月1日、学習指導要領の改定作業を進めている中央教育審議会の特別部会に、答申に向けた素案となる「審議のまとめ」案が示されました。小学5、6年の英語を教科化し、3、4年で英語に慣れ親しむ「外国語活動」を導入するという内容も含まれています。

	修身	国語	算術	国史	地理	理科	図画	唱歌	体操	裁縫	手工
1年	2	10	5				1	4			1
2年	2	12	5				1	4			1
3年	2	12	6				1	1	3		1
4年	2	12	6			2	1	1	3	2	1
5年	2	9	4	2	2	2	3	2	3	3	1
6年	2	9	4	2	2	2	2	2	3	3	1

小学校の変更点

まず、小学校の科目の変更点からです。表は昭和2年の「尋常小学校」の「学科名」です。週当たりの授業時数(男子)です。御覧のように、少し古い用語のものもありますが、科目の切り分け方は現在とあまり異なっており、今の教科、科目の考え方に生かされていることがわかります。む

しろ昨年発表された「道徳の教科化」は当時の「修身」が復活したともいえます。

ところが、外国語(英語)という教科が小学校に取り入れられるのは、明治維新以来の日本の学制の中では初めてのことで、当然今までの小学校の英語教育についての研究はなされてこなかったわけですし、そもそも小学校の教員採用試験では英語力が問われてこなかったわけです。小学生の年齢層に対する英語教育のノウハウはむしろ民間教育機関の方が優れているともいえますのでそれらのノウハウや教材の蓄積を生かせないかという研究も始まっているようです。しかし、小学校の先生方にはしばらく負担がかかると思われます。

中学校の変更点

中学校に関して、今回の答申では科目が変わるほどの大きな変更はありませんが、小学校で英語が教科化されることから、中学英語の内容は「新されること」になります。

高等学校の変更点

高等学校では大きく科目の編成が変化することになります。

上の図は新指導要領に向けて、現在文部科学省が検討している、教科・科目構成

国語は「論理」と「文学」に分けられる

国語は今までは「現代文」とされていた科目が「論理」と「文学」と明確に分けられ、それぞれ教科化することになります。論説文が不得意でも小説の得点力でカバーしていた高校生は、今後は「論理国語」という論説文だけの科目の試験で苦勞することになるかもしれません。高校ではそれぞれ別に単位認定されることになります。現代社会は倫理・政経の内容の一部を取り込んだ公共という科目に統合され、選挙権年齢の引き下げに伴って必修化されます。数学も前回の改定時に中学校内容の増大に伴って消えていた「数学C」が復活するなど、さらなる単元増加に伴って科目の変更が考えられています。

小学生でもさらなる基礎知識の増加

今の小学生はプレゼンテーションなどのアクティブラーニングや問題解決型学習、プログラミング学習、など小学校での新たな学習方法論が目向きがちですが、いずれにせよ思考言語としての「国語」を意識し、新聞の購読などを通して多読・速読力と現代社会の知識を身に着けることが有効でしょう。加えて英語の学習では、特にリ

についてです。(<http://twinavi.jp/top-ics/tidbits/57a05996-0898-49e4-a2a5-754b5546ec81> より転載)

従来の指導要領改訂は、扱う学習単元範囲を変更する、順序を変更する、というレベルの変化が主で、科目名まで変更するというのは限定的だったのですが、今回の改定では科目名も含めて大きく変更されます。また必修科目のカバーする範囲も広くなります。

日本史Aと世界史Aが合体した「歴史総合」

大きいところでは、日本史Aと世界史Aが合体して「歴史総合」という必修科目になるというのがあります。今までは「世界史」は必修で、「日本史」は選択科目だったのですが、自国の正当性を説明するための自国史が選択(つまり扱いが軽い)であることにに対する意見もあり、統合された形で必修となりました。しかし、すでに教科書や市販の用語集の分厚さが物語るように、日本史と世界史は他の社会の教科に比べて分量が多いのですが、近現代の基礎を中心としたAの分野であっても合体することによって、大量の知識量を問われる教科になることは避けられないと思います。それに伴って、世界史A、日本史AといったA科目

スニングとスピーキングの機会を多く持つことが望ましいでしょう。社会は高校地理必修化と連動して、小学校段階でも地理内容の増加(世界地理の復活など)が考えられます。現行でも4年生の冬には都道府県と県庁所在地を暗記しますが、それに加えて5年から6年で国名と首都名、国旗などの内容も入ってくるでしょう。今までは知っていると自慢できた知識が、知らないと恥ずかしいレベルになるという事です。もちろん理科・算数も今まで以上に基礎知識や正確で効率的な工夫ができる計算力などが要求されます。

英語の民間検定の導入など、大学入試改革の一部の混乱状況がマスコミではクロージアアップされていますが、実は他の科目でも大きな変更が行われるということを知っておいていただきたいと思います。





2018年（首都圏難関私大系列中学校入試分析より）

12月受験直前の重要ポイント

フリーステップ修学院教室チーフ 住本 正之

12月になりました。中学受験にのぞむ小学6年生にとっては冬休み・冬期講習の学習計画を考え、実行すること、保護者にとってはお子さんの体調管理と受験に関わる準備を進めることがポイントとなる時期です。今回は12月、冬休みを過ごすにあたり、中学受験生と受験生の保護者、それぞれの重要ポイントについて、お役に立てるお話をしていきたいと思います。

12月の受験生のポイント① 過去問・プレテストから 塾カリキュラムを定める

中学受験を志す小学6年生の皆さん、志望校の過去問を既に解きましたか。また、これは関西圏のみの話とはなりますが、志望校がプレテストを実施している場合、プレテストを受験しましたか。

このことは中学入試のみならず、高校入試や大学入試にも言えることなのですが、志望校の過去問を解き、過去問の出題傾向をつかみ、その傾向に即して学習を進めることが、入試直前期の受験勉強の最重要テーマです。プレテストを受験された場合は、入試の予告編ともいえるプレテストの見直しも重要です。

入試問題は学校によつて、個性^①の差が大きくあります。資料1と資料2には、ともに男子校のなかでもアカデミックな校風で知られ、大学教授や研究者を数多く輩出してきた、武蔵中と筑波大駒場中の2018年度の社会の入試問題の一部を掲載しました。

資料1にある武蔵中のように、文章を書かせる論述問題が多く出題されている中学校を志望校とする場合と、資料2にある筑波大駒場中のよ

しれません。しかし、中学受験生の多くは、進学先とすることを前提として、第志望校（群）以外にも、複数の中学校を併願受験されることを考えていらっしゃると思います。2月入試の首都圏の多くの中学校の出願期間は入試前月の1月中旬になります。1月入試の中学校の中には12月中で出願を締め切るところもあり、12月のうちに1月入試の受験校・出願校について具体的に決めておく必要があります。

今回は首都圏の中学入試をベースに説明をしますが、併願校選定のポイントとして①前受け（前受験）②午後入試③ダブル出願（トリプル出願）の3つをあげたいと思います。②と③については来年2月号で説明をすることにして、今回は12月中に出願をする必要がある中学校もあることから、①の「前受け」について説明をしたいと思います。

「前受け」というのは、第志望校の入試日よりも前に入試を設定している中学校を受験することです。本命とする中学校の前に入試を経験し、合格をつかむことで、また、第志望校ではない場合であっても進学先を確保することによって、緊張感をやわらげ、第志望校入試に少しでもリフレッシュをして臨むことを意図するものです。

東京都と神奈川県私立中学校は毎年、2月1日を中学入試の解禁日としています。例えば、2月3日に入試を実施する東京都内にある中学校を第志望校とする場合は2月1日や2月2日に入試を実施する都内や神奈川県内の他の中学校を「前受け」とすることができですが、2月1日に入試を実施する中学校を第志望校とする場合は東京・神奈川にある私立中学校を「前受け」とすることはできません。「前受け」を考える場合には、1月中から入試を実施する埼玉県や千葉県、関西圏など首都圏以外の中学校、も

うに、記号選択問題の出題を中心としている中学校を志望校とする場合では、得点力を上げるための勉強内容にも違いが必要になります。前者の場合は文章表現力を鍛え、論述問題解答の前提となる深い知識を身につける学習、後者の場合は記号選択問題への感覚を養いつつ、社会や理科の場合は不正解問題に関わる知識や理解を再確認すること、がポイントになります。

塾での学習やカリキュラムも、志望校の入試傾向や受験生一人ひとりの課題点を踏まえて進めていくことが重要になります。通常授業として、冬期講習・フリーステップやソフィアの教室・チャ担当講師に常に相談をして、志望校合格のために必要な学習ポイントを過去問から見定めて、傾向にあった教材を選び、ラストスパートの時期の受験勉強を効果的に進めていきましょう。

12月の受験生のポイント② クリスマスや年末年始を 我慢せず、程よく

クリスマス、冬休み、大晦日、お正月。12月から1月にかけては、子どもたちにとつてもわくわく、そわそわする時期です。しかし、受験生にとつてはクリスマスもお正月も、例年のように楽しむ余裕はないかもしれません。少なくとも、受験生の保護者の多くは、そう思われているのではないのでしょうか。クリスマスはもとより、大晦日や正月三日も特訓授業や受験合宿を実施している中学受験塾もあります。大晦日のテレビニュースで鉢巻を締めた受験生が勉強を頑張っている姿が放映されているのをご覧になったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

しくは首都圏で入試を実施する地方の中学校（主に寮完備の学校が受験校の候補となります。偏差値、入試難易度、自宅から入試会場へのアクセス、保護者の故郷の学校・塾からの推奨、進学候補としての教育理念、大学進学実績など、「前受け」としての学校選びのポイントもいくつかありますが、私は今回、特に入試会場に注目したいと思います。

入試会場に注目した 「前受け」

資料3に示したのは慶應義塾大学の校舎で（首都圏）入試を実施する中学校です。慶應大系列の中学校のなかで、慶應義塾中部は一次試験（筆記試験）を慶應大三田キャンパスで実施をし

資料3

中学校名	試験日（2019年）	試験会場（首都圏入試）
慶應義塾中部	2月3日（一次）	慶應義塾大三田キャンパス（一次）
	2月5日（二次）	同中部（二次）
慶應義塾普通部	2月1日	同普通部
☆仙台育英学園秀光	1月14日	慶應義塾大三田キャンパス ※青山学院大青山キャンパスも選択可能
☆佐久長型	1月14日	慶應義塾大三田キャンパス
☆宮崎日本大学	1月8日	慶應義塾大日吉キャンパス ※日本大経済学部キャンパス等も選択可能

☆は首都圏入試日程。本校入試は別日程となります。

資料1

図3 江戸時代の刷版出について、以下の問いに答えなさい。

(あ) 松平定信は、貿易額を半減させなければどうなると心配していましたか。

(い) 18世紀末に、幕府がオランダの要望にそうかたで刷版輸出の拡大を認めたのは、なぜでしょうか。当時の日本に近づくようとしていたヨーロッパの国の名前をあげて答えなさい。

図4 銅山の再開について、以下の問いに答えなさい。

(あ) 広い土地をもつ農民の反発が特に強かったのはなぜでしょうか。公害以外に理由として考えられることを書きなさい。

(い) 銅山の再開を「数産」した人びとが期待したのはどんなことでしょうか。

出典:2018 武蔵中 社会

資料2

1 豊臣に關連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
ア 国の成り立ちを示す『古事記』や『日本書紀』は、天皇の命やでつくられ、8世紀に完成した。
イ 『蒙古襲来絵図』は、前・後編が自らの戦いぶりやうたてた土地をもらうまでの様子を描いている。
ウ 杉田玄白らはオランダ語の医学書を翻訳し、『解体新書』と名づけて出版した。
エ 福沢諭吉の『西洋事情』は、新しい西洋の文明と日本との間に大きな影響を与えた。
オ 戦後まもないころの学校では、戦争中の教科書がそのまま使われたが、戦争に関する内容は全て消された。

2 日本にある豊臣に關連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
ア 徳川幕府が江戸幕府からは、水田のあとや土壌が見つかっている。
イ 青森県三内丸山遺跡からは、石包丁やにはわが見つかっている。
ウ 佐賀県吉野ヶ里遺跡は弥生時代の遺跡で、集落のまわりには大きなほりやきくがめぐらされていた。
エ 弥生時代には、近畿からの戦艦を防ぐために建築された土塁の跡がみられる。
オ 博多地区には、大平洋戦争のあとをのこす戦争遺跡である。

3 豊後国、大分、熊本、宮崎に關連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
ア 大分県は、大分県の大分市が、日本最大の地方後援地から出た。
イ 大分県は、大分県の大分市が、日本最大の地方後援地から出た。
ウ 大分県は、大分県の大分市が、日本最大の地方後援地から出た。
エ 大分県は、大分県の大分市が、日本最大の地方後援地から出た。
オ 大分県は、大分県の大分市が、日本最大の地方後援地から出た。

4 豊臣に關連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
ア 豊臣は、中国の政治のしくみや文化、仏教などを伝えるための通訳として日本にやってきました。
イ 豊臣は、中国の政治のしくみや文化、仏教などを伝えるための通訳として日本にやってきました。
ウ 豊臣は、中国の政治のしくみや文化、仏教などを伝えるための通訳として日本にやってきました。
エ 豊臣は、中国の政治のしくみや文化、仏教などを伝えるための通訳として日本にやってきました。
オ 豊臣は、中国の政治のしくみや文化、仏教などを伝えるための通訳として日本にやってきました。

5 日本、朝鮮、中国に關連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
ア 江戸時代、日本と朝鮮との貿易や外交は、対馬藩を通して行われた。
イ 19世紀末に中国で内乱がおこると、日本は中国に軍隊をおくり、日清戦争はじまった。
ウ 第一次世界大戦によって日本は朝鮮の植民地を獲得し、台湾などを日本の領土にした。
エ 1937年に日本軍と中国軍が北京郊外で戦いを始め、日中戦争がはじまった。
オ 1961年にサンフランシスコ平和条約が結ばれ、日本と中国、韓国との国交が正常化した。

出典:2018 筑波大駒場中

自信と安心を与えるための「前受け」

「前受け」について入試会場という視点からお話をしましたが、「前受け」の目的は中学入試そのものを体感すること、「合格」をつかみ、受験生に自信と安心を持てもらうことにもあります。確実に「合格」できる学校が否かを見極めることも重要です。受験前は強気で「ダメだったとしても大丈夫だよ」と話していても、結果が芳しくなかった場合、まだ小学生である中学受験生は、高校受験の中学生や大学受験の高校生以上にショックを受けやすいこと、そこからの立ち直りが難しいケースがいくつもあることを、私も指導者として目の当たりにしてきました。「前受け」についても、併願校についても、気になることは何でもフリーステップやソフィアの教室・チャームに相談ください。

受験生の心得

受験生の心得



個別指導部 運営課 安在浩義

受験合格へ向けての大切なことの1つとして、学習面以外での「準備」があります。

受験までにどれだけ完全に学習面での準備をしても、不安定な気持ちや体調不良のせいでも、本番当日に力を十分に発揮できないとなれば元も子もありません。いかに安定した精神状態で受験にのぞめるか、受験当日いかに万全の体調で取り組めるかが、志望校合格に大きな影響を与えます。体調面や精神面におけるケアは受験生本人だけでなく、周りのご家族の方々の協力が必要です。

今回は「受験生の心得」と題して、これからの生活で気を付けるべき項目を紹介していきます。ぜひ参考にしていただき、万全な状態で受験当日を迎えていただきたいと思います。



受験生のみなさんへ

いよいよ12月を迎え、受験生にとっては「追い込み」の時期になりました。受験生の皆さん、「準備」は万全ですか？ やり残したことはありませんか？

受験期間は、合格するために必要な力を1つずつ順序立てて手に入れていく、合格するまでの「準備」の期間です。学力以外にも受験に必要な様々な力をつける訓練をしてきたことと思います。目標を定め「いつまでに、何を、どれだけ」やりきるのか決める『計画力』や、起床後や睡眠前、通学中などの短い時間を有効活用するために必要な『集中力』、どんなに辛くても結果を出すためにやり抜く『突破力』・『忍耐力』など、受験生になるまでは考えもしなかった「力」が皆さんには身につけていると思います。こうした「準備」の期間をとおして成長してきた皆さんは、受験という関門を突破できる力が備わっているはず。

いよいよ「受験直前期」に入ります。しかし、多くの不安や、失敗するかもしれないという恐怖や、まだ足りないのではないかとという焦りもたくさんあると思います。ですがここまで「準備」

してきた自分を信じて、これまでどおりしかるべき「準備」をすることを心がけてください。必ずその先に「合格」という喜びが待っています。揺るがず、怯まず、目標だけを見据え、「合格」に向かって一直線に突っ走ってください。

入試直前の過ごし方

- 受験までに見直すべき生活の心得・過ごし方
- 毎朝、早起きして太陽の光を浴びる
- 朝食をしっかりと取る
- うがい・手洗いを欠かさない
- 人の多いところではマスクを着用する
- 栄養のあるものを食べる
- 防寒はしっかりとる
- 体調が悪い時は無理をしない
- 勉強中は携帯電話の電源はOFF
- 夜更かしせず、しっかりと睡眠をとる

入試直前期、とくに気を付けたいのは体調管理です。また、試験は朝から行われますので、試

験時間にしっかりと頭が働くように睡眠リズムを整えることも必要です。入試直前は少しでも不安をなくそうと、夜更かしして勉強したくなることもあるでしょう。しかし夜更かしをすることは、生活リズムを崩すことにつながります。加えて人の多い自習室で勉強するなどは、風邪やインフルエンザなどに感染してしまうリスクも高めます。そうなるまいと、結局大切な時期に、体調不良で満足に勉強できないこととなります。入試直前期、まずは体調管理をしっかりと行いましょう。

入試1週間前に 気を付けるべきこと

- 否定的な言葉は発しない
- 難問・奇問を解こうとしない
- 焦って無理をしない

受験まで1週間を切ると、気を付けなければならぬ3つの要素があります。それは「無理・無駄・無茶」です。

●「無理」

人間不思議なもので、「自分には無理」などといった否定的な言葉を発していると、本当にできなくなることがあります。「自分なら大丈夫」と肯定的な言葉を発するよう心がけましょう。

●「無駄」

1週間前に難問や奇問に挑んで解こうとしても時間がかかり、また、なかなかできないことから焦りが生まれてしまうだけで、時間の無駄です。試験1週間前になったら、「自分はできる！」と自信を持つためにも、確実に解ける問題をしっかりと復習し、確実に得点できるものを落とさないようにしておきましょう。

●「無茶」

この時期に無茶をして、知識を詰め込むために夜更かしをすることはもつてのほかです。試験当日、万全の状態で受験することができないというリスクが高まります。焦る気持ちはわかりますが、絶対にやめましょう。

入試前日にやること

- ゆっくりお風呂に入るなどして、気持ちを落ち着かせる
- しつかりと晩御飯を食べる
- 目覚ましをセットする
- 家族・先生たちからエールをもらう
- 『合格するぞー』と強い気持ちを
持つて早く寝る

持ち物リストを作成して、 リストを見ながら持ち物を確認する

- 受験票
- 生徒手帳・学生証
- 会場までの地図
- 鉛筆・シャープペンシル・消しゴム
などの筆記用具
- 昼食
- チョコレートなど糖分摂取・リラックス用
- 鉛筆削り
- 時計(時計機能のみで秒針音がせず、小型のもの)
- 上履き・上履きや下履きを入れる袋
(必要な場合のみ)
- お金(電車の遅延などがあつたとき用)
- メガネ(必要な場合のみ)
- マスク(必要な場合のみ)
- 着脱しやすい防寒着
- 雨具(折り畳み傘など)
- 参考書・ノート
- 携帯電話(入室したら電源を切ること)
- お守り

当日の朝に焦ることのないよう、持ち物ももちろんのこと、心の準備もしっかり整えましょう。持ち物は持ち物リストを作成して、ひとつひとつ確認しながら準備をしておいてください。また、ゆっくりとお風呂に入ったり、しっかりと晩御飯を食べることで気持ちをリラックスさせ、早めに就寝しましょう。

入試当日

入試当日は緊張して当たり前です。緊張しているのは自分だけではなく、周りの人も緊張しています。『緊張するな』と考えることはかえって緊張を高めてしまうので、「緊張して当たり前」と開き直ってしましましょう。それでも緊張が解けない場合は、今まで指導してくれた先生や家族といっしょに頑張ってきたことを思い出してみてください。きつと、『自分なら大丈夫！』と思えてくるはずです。

また終わった科目の試験のことは気にしないようにしましょう。周りの受験生が話しているも耳を傾けずに、次の科目のことを考えてください。

快眠のススメ

受験直前はなかなか寝付けなくて寝不足、昼寝をしてすっきりした反面、夜には目が冴えて…と悪循環に陥ることもしばしば。睡眠の質を改善することで、気分をすっきりさせ、勉強に集中しましょう。

●入浴を工夫して快眠

目を覚ましたいときに、熱めのシャワーを浴びることは有効ですが、睡眠を誘導したい場合は逆効果。ぬるめのお湯にゆっくり入り、30分〜1時間後に就寝するとぐっすり眠れます。冬の寒い時期に熱いお風呂で暖まりたいなら、入浴後2〜3時間後に就寝すると、脳や内臓の熱も引いているので、眠りを妨げられません。

●ホットミルクで快眠

冷たい牛乳ではなく、ひと肌程度に温めた牛乳は就寝前に飲むと、適度に体が温まった後、体温が下がっていくので眠りにつきやすくなります。睡眠のための材料となる物質がたくさんあるので、快眠にホットミルクはうってつけです。

●朝は朝日を全身で浴びる

朝日を全身にしっかりと浴びることで体内時計がリセットされ、すっきりとした朝を迎えることができます。

●睡眠時間を90分の倍数にする

人間は浅い眠りと深い眠りを90分ごとに繰り返しています。浅い眠りのときに目覚めると不快感がなく、すっきり目覚めることができます。よって睡眠時間を90分の倍数にすると、スッキリと目覚めることができます。

×寝る直前にしては いけないこと

- カフェインを摂取する
↓目が冴えてしまう
- 熱い湯につかる
↓内臓が温まりすぎて寝付けなくなる
- テレビやパソコン、携帯電話などの画面を長時間みる
↓これらの光の刺激は睡眠ホルモンを抑制してしまう



2 中学受験のメリットは？

そもそも中学受験をするといってもどこにメリットがあるのか？デメリットとして学費が高いことや通学時間が心配、受験させても失敗したとき子どものダメージが大きいなどといった声をよく聞きます。

しかし中高一貫校に進学すれば、高校受験がなく大学受験に専念できたり、環境がいいので個性が伸ばせたりするなど、多くのメリットがあります。

例えば、図は中高一貫校と高校受験がある中学の学習スケジュールを比較したものです。中高一貫校には高校受験がありません。その分高校で学習する内容を先取りし、大学受験対策にける学習時間を多く取っています。

また1週間の学習時間で比較した場合でも主要5科目の学習時間は公立で15時間、私立中学は24時間以上です。そのため多くの私立中学が中3の1学期までに中学校過程を終了しています。

さらに習熟度別授業や少人数授業を取り入れている学校も多く、教師が生徒との接点を増やすことで、生徒の学力や学習状況に合わせた授業を展開しています。公立中学でも習熟度別のクラスを設ける学校が増えつつありますが、私立中学では先行して取り入れているため、より細かい指導が実現できる環境にあります。

中学受験ガイド～受験準備回～

中学受験のメリット

大学への進学で有利

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
中高一貫	中学履修内容の学習	中学履修内容の学習	高校履修内容の学習	高校履修内容の学習	大学受験対策	大学受験対策
高校受験	中学履修内容の学習	中学履修内容の学習	高校受験対策	高校履修内容の学習	高校履修内容の学習	大学受験対策

①大学受験対策にける**学習時間が多い**
 ②中高一貫による連携で**効率的な学習が可能**
 ③高校受験対策の代わりに「**真のゆとり教育**」を実践している学校も

3 志望校の選び方

志望校を選ぶときに学校のどの点に注目すべきなのでしょう？かつては生徒の学力つまり「偏差値のみ」で中学校を選択する方が多かったと思います。しかし最近では「6年間をいかに充実して過ごすことができるか」ということを重視し、『校風』や『教育方針』で志望校を選ぶご家庭が増えています。志望校選びをする際、まずは生徒も保護者も気になる学校のパンフレットなどを取り寄せ一緒にみて話をしてみてください。

多くの中高一貫校や私立中学校では、5月以降にオープンスクールや入試説明会が始まります。パンフレットを見て気に入った学校があれば、実際に足を運んで学校の雰囲気確かめてみてください。オープンスクールや入試説明会以外にも体験授業や文化祭・体育祭などのイベントに参加できる学校も多くあります。スケジュールに関しては中学校ごとのホームページや開成教育グループ入試情報室が更新する『入試情報ブログ』でもご紹介しています。時々チェックしてみてください。

いかがでしょうか？内容のほんの一部をご紹介させていただきました。中学受験をするか迷っている方も、「中学受験ガイド～受験準備回～」に参加いただければ入試の基礎知識はもちろん、具体的にどのような学校があるのかまでご説明します。中学受験だけでなくその先のことまでお話しさせていただきますので是非ご参加ください。

中学受験ガイド～受験準備回～

志望校・併願校の選び方

- ①**私立か？国立か？公立中高一貫校か？**
- ②**進学校か？大学附属校か？**
- ③**男子校か？女子校か？共学校か？**
- ④**校風・教育方針が合っているか？**
- ⑤**通学経路は？通学可能な距離か？**
- ⑥**進学実績はどうなっているか？**
- ⑦**実際に見に行く！**

学園祭・体育祭・学校説明会・体験入学など実際行って確かめてみる

中学受験ガイドンス

～受験準備回～



中学受験をお考えの皆様はそろそろこれからどのように勉強したらよいのか？どのように受験校を決めていけばいいのか？と考え出す時期ではないでしょうか。そんな保護者の皆さんに今回ご案内するのは1月20日(日)実施の「中学受験ガイドンス～受験準備回～」というイベントです。「中学受験ガイドンス～受験準備回～」は「志望意思を固める」ことを前提に、入試に必要な情報を提供させていただくイベントです。「中学受験ガイドンス」は5月・10月と年3回実施予定となっており、今回実施する受験準備回は「受験意思を固める」、5月実施のデータ分析回では「受験校を決定する」、11月実施の入試直前回は「受験スケジュールを固める」ことを目的とします。

【イベント実施概要】

開催日… 1月20日(日)
 対象 … 小学3年生～小学6年生とその保護者
 会場 … 開成梅田ビル2階大会議室
 時間 … 【午前】10:00～12:00
 【午後】13:00～15:00
 ※午前・午後は同じ内容です。



1 入試形式の多様化



現在中学入試が多様化しているのはご存知でしょうか？これから勉強していくにしてもどのような対策をしていけばいいのか？ということがわからないと効率がよい学習はできません。

例えば入試科目です。小学校では算数・国語・理科・社会を主に学習しているので、入試においても4教科とも試験科目になると思われがちです。もちろん4科目受験しなければならない学校もあります。しかし学校によっては算数と国語のみで受験することができたり、得意科目を高く評価するなど、評価の仕方は多様化しています。そのため得意科目を活かした受験や、教科数の少ない受験で中学入試にチャレンジすることができます。



講師からのメッセージ ～代ゼミホームページより～



**言葉の意味を
正しく理解する**

「すぐに問題を解く」は物理の勉強ではNG。先を急がず、まずは「理解の質を深めていなければ、応用がまったくなくなるからです。その第一歩は言葉の定義を正確に頭に入れること。例えば、「熱」と「温度」という言葉。普段の生活でも何気なく使っていると思いますが、物理の世界では2つが指し示す意味は明確に異なります。こうした地道なステップを踏むことではじめて「物理の目」で問題文が読めるようになるのです。

覚えるべきことの内容を正しく理解し、さらに必要な知識を確実に自分のものにし、解く力を高めていく。志望校合格への道は、物理が苦手な人でも、得意な人でもこの道以外にはありません。分かなければいつでも聞いてください。分かるまで教えます。

受験生の声

**丁寧な板書・解説で
理解しやすい**

為近先生は、微積をなるべく使わずに物理問題にアプローチされます。つまり、基本的な微積の知識だけで物理の問題を解けるように教えてくださいます。先生の授業は板書がたいへん見やすいです。また、字や図が恐ろしく上手いのです。そのため、ノートが取りやすくわかりやすく、視覚的にも理解しやすいです。

先生は、授業の中で、問題文を丁寧に分析されます。そして、式を使う理由を丁寧に説明されます。現象の捉え方を言葉で説明し、実際に解くときにどう考えるべきか、指針のたて方を教えてくださいます。問題を読んでいくと、何らかの公式を使う「選択肢」に出会います。「なぜここでこの公式を使うか」ということについて、「フローチャート」を使って解説されます。為近先生の授業を受けると、今までなんとなく解いていた問題もこういう現象だからこのように解くというように捉えられるようになります。



講師からのメッセージ ～代ゼミホームページより～



**受験は、戦だ。
必勝のストーリーを描こう**

受験という戦いに臨む受験生たちに戦う力を与える。それが私の役目です。もしも今やっている日本史の学習が語句量を増やそうとしているだけとしたら、それはおもしろくもなければ、得点にも結びつきにくいもの。なぜなら、頭の中で言葉が散らばっているだけの状態だから。そんな語句どうしを関連づけて必勝の受験知識とするのが私の講義。そして、知識を軸に描かれたストーリーこそが受験を制するあなたの武器となるのです。

また、生徒はひとりひとり環境や学習状態がちがうもの。強制的に勉強を強いるのではなく、それらを考慮しながら、すべての生徒が受験という勝負を勝ち抜くための講義を約束します。

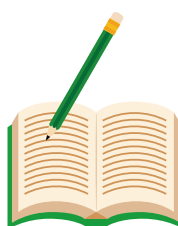
受験生の声

完璧で面白い日本史の授業

日本史といったら、土屋先生。日本史という科目は暗記するだけだ！というイメージがありますが、僕も土屋先生の講義を受講するまではそう思っていました。

しかし、初めて先生の授業を受けたとき驚きました。土屋先生の「コンプリート日本史①②」では、ただ歴史の流れを教えただけでなく、この語句は正誤問題で問われるのか、穴埋めなのか、論述なのか、またどの大学でよく出題されるレベルで、どのくらい重要なかを適切に教えてくれます。そのため、すべての授業で、毎回ノートをしっかりと取ることが出来れば、自分の志望校にあった最高のテキストが完成します。正直、世界中どこを探しても土屋先生ほど完璧になおかつ面白く日本史を教えてください先生はいないと、言うても過言ではありません。

自信を持ってオススメします。日本史が苦手な人も、日本史を得点源にしたいという人もぜひ一度受けてみてください。絶対にハマります。



為近 和彦講師

物理



土屋 文明講師

日本史



開成教育グループ

おすすめ! / 代ゼミサテライン予備校

VOL.3

代ゼミサテライン講座

2回に渡り、おすすめの講座を紹介してきました。
今回は予備校界でも屈指と呼ばれる代ゼミの講師にもう少し焦点を当ててご紹介します。

講師からのメッセージ ～代ゼミホームページより～



合格のための学習を

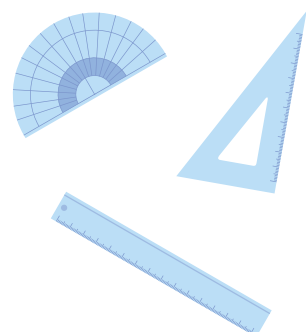
来春みなさんが合格することだけを考えて授業します。受験数学において重要なのは「計算力」と「解法の知識」。「考える」という行為はこれらがあつて初めて意味を持ちます。なにも知らない状態を考えることは出来ません。だから知らないことはすべて授業で理解したうえで憶え、今持っている知識や経験を用いて少しでも予習して授業に臨むのです。何事もそうですが、当たり前の努力の先にしか成功はありません。次に自分のレベルに合った教材、クラスを選ぶことです。難しいことをやれば学力が向上するわけではありません。授業に参加出来る、予習の際手を動かすことが出来る教材を選んでください。この1年のスタートに次の言葉を贈ります。「もし未来を決める神様がいたらそれは今のあなたです」共に頑張りましょう。

受験生の声



一番大切に心がけてほしいのは「授業の予習」

荻野先生が「一番大切に心がけてほしい」と言っていることが『授業の予習』です。その理由は「数学で一番大事なことは新しい問題に自ら自分の脳を動かして、解きに行くこと」であつて、たとえ予習段階でその問題は解けなくても、その解きに行く姿勢が入試問題を解く力になるからです。また、たまの雑談ではいつも刺激を受けて勉強に励むようになり、精神面でもフォローしてくださいました。



**夢の中で生きるな。
現実の中で生きる。**

荻野先生の言葉の中で一番印象に残っているものがあります。「夢の中で生きるな。現実の中で生きる。志望校のパンフレットを見てにやにやしている暇があれば、その5分の時間を微積の計算問題を解く時間に使うんだ」です。少し厳しい言葉かもしれませんが、いつもこの言葉を胸に努力し続けました。荻野先生は「本当の努力」というものを教えて下さったのだと思います。ちょっと怖い印象の荻野先生ではありますが、トークがものすごく面白いのです。子ども好きで子どもとの自慢話もあり、ちょっとした毒舌も、とても和むものでした。数学の力をより伸ばしたい人や解く技術を磨きたい人は荻野先生についていくべきです！

荻野 暢也講師

数学



「教科」の成立

計	手工	裁縫	体操	唱歌	図画	理科	地理	国史	算術	国語	修身	学科/学年
21時	簡易なる細工		4時 遊戯及競技	4時 平易なる 単音唱歌	単形(簡単なる)形態				5時 百以下の数の 計算	10時 常須知の文字 及近易なる普通 文の読み方 書き方 方読し方	2時 修身の要旨	I
23時	同		4時	同	同				5時 千以下の数の 計算	12時 常須知の文字 及近易なる普通 文の読み方 書き方 方読し方	2時 同	II
25時	同		3時	1時	1時 単形(簡単なる)形態				6時 整数の計算	12時 常須知の文字 及近易なる普通 文の読み方 書き方 方読し方	2時 同	III
男 27時 女 29時	同	2時 運針法、通常の 縫い方	3時	1時	1時 単形(簡単なる)形態	2時 植物、動物、鉱 物、象、通常の 現象、化学上の 現象			6時 整数の計算、 少数の計算、 分数の計算	12時 同	2時 同	IV
男 28時 女 30時	同	3時 通常の衣類の 縫い方	3時	2時	男2時 女1時 同	2時 同	2時 日本地理の 大要	2時 国史の大要	4時 整数の計算、 少数の計算、 分数の計算	9時 同	2時 同	V
男 28時 女 30時	同	3時 通常の衣類の 縫い方	3時	2時	男2時 女1時 同	2時 同	2時 金州の他、 地理の大要	2時 全学年の 全学年の 全学年の	4時	9時 同	2時 同	VI

(図画は、I、II学年に於いては、毎週1時間之を課することを、
手工は、I、II、III学年に於いては毎週1時間、IV、V、VI学年に於いては、毎週2時間之を課することを得
この時に改正された学科は、算数、国史、唱歌、体操、裁縫の5科(※のついた学科)
あとの学科は大正8年3月の小学校令施行規則改正の引きつづきである
(注)原文のまま。漢字のみ新字体で表記。

【表2】
大正8年から導入されたこの小学校令施行規則は「国語・算術」の二科と国史・地理・理科の三科を合わせた「五科」を中心として授業を配置する考え方で、現在の教科・科目の元となっています。
国語は「読方」(読解)「書方」(習字)「綴方」(作文)の三領域にわけられていました。その中で特に重視されたのが「読方」つまり読解力です。これは後進国としての日本が先進国の豊富な文献を読み取ることが、欧米先進国に追いつくことも有力な方法だと考えられていたためです。綴方(作文)も課題作文、つまり「〇〇について書け」という形式が主で、表現力よりその事柄についての知識量を問

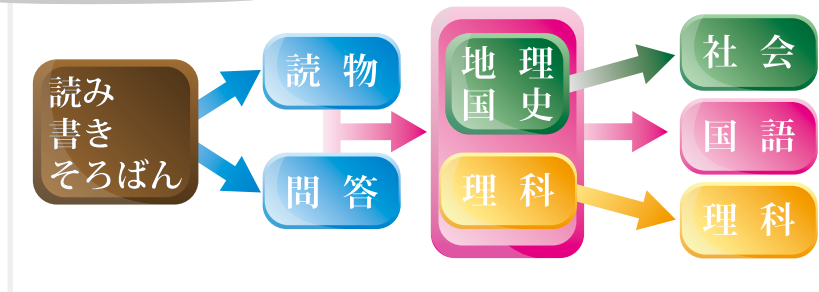
うものでした。古代ギリシャでは修辭学(演説の技術)が自由七科(Sepentative sciences)の一つとされ、その伝統から欧米では討論が重視されていますが、この国語の領域を見てみると日本では会話や討論の能力はあまり重視されていなかった事がわかります。算術も数学的概念や思考を作り上げる事を目的としているものではありませんでした。算術は計算問題と「応用問題」にわけられていましたが、計算問題では早く正確に処理する事が尊ばれるのは当然として、「応用問題」というのも、あらかじめ決められた数的関係を迅速に処理する能力が求められる旅



これらの教育機関のおかげで、江戸における嘉永年間(1850年頃)の就学率は70.86%と、イギリスの主な工業都市で20.25%(1837年)、フランスで1.4%(1793年)、ソビエ連邦時代のモスクワで20%(1920年)などの諸外国に比べ格段に高くなっており、江戸時代ないし明治初期における日本の識字率は世界最高水準にあったといわれています。
さて明治維新で新政府は学制をひき、義務教育を始めます。その中身は表1のようなものでした。
肝心の教科の構成ですが、江戸時代の「読み・書き・算術(そろばん)」に加えて「問答」という科目が設置されています。この「問答」と「読物」といった教科の中で、実は地理・歴史の知識定着が要求されているようです。つまり内容としては藩校ではなく手習所を引き継いでいることがわかります。
ちなみに学年については「第八級」が最も下の学年で、半年ごとの進級制になっていま

いる基本文字の習字から始め、しだいに往來物などの書物を読みながら読解力を身に付けていったようです。何年も寺子屋に通った生徒の中には、藩校の生徒も顔負けの四書五經の読み方にまで進むものもいたそうです。算術も、藩校と手習所の両方で教えられることが多かったものでした。しかしたとえば会津藩では「算術II商売」という偏見のためか、あまり人気が無かったといわれています。一方「手習所」では算盤(そろばん)を用いて計数の学習をするもので、主に商売の役に立つように加減乗除の基礎が中心だったようです。つまり、庶民にとっては「読み・書き・算術(そろばん)」が基礎学力とされていたわけですが、同じように実生活の役に立つという理由から地理・人名・書簡の作成法なども取り入れられた手習所もありました。

教科の移り変わり



人算やつるかめ算といった特殊算がそれにあたります。何かあつても立ち止まらない弟を兄が一定の速さで追いかける(後ろから呼ばれたら待ちましようよ、つるかめ算)の足の本数の合計と頭の数の合計がわかってるのに、つるかめがそれぞれ何匹ずつかわからない(普通は数えている最中にわかってしまうよ)など、現実離れした設定であっても、その関係を元に能率よく正確に数的処理する技術が求められました。
高校で次の指導要領改訂から再び必須科目でなる地理ですが、当時の小学校では国語、算術に続いて重要とされていました。地理という教科は明治以降の産業資本の発達による商圏の広がり、すなわち原料購入や製品販売の為に必須科目とされました。そこ

表2は昭和2年の「尋常小学校」の週当たりの授業時数と主な内容になります。ご覧のように修身(今の道徳に近い)や唱歌(当時は

下等小学教則(明治6年5月)【表1】

教科	級							
算術	習字	書取	作文	問答	復読	諸科復習	体操	読物
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二
万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二	万国地誌略 卷二	万国史略 卷二			



藤山正彦先生
(最終学歴)
大坂大学
人間科学研究科博士前期課程修了
人間科学修士(教育学)
(所属学会)
・日本教育学会・日本教育工学会・教育心理学会
参考文献・資料
・石川英輔「大江戸生活事情」講談社文庫 1997年
・文部省「学制百年史」株式会社 帝国地方行政学会 1981年
・広岡亮蔵「基礎学力」金子書房 1953年

から日本と世界の地名と産物を隅から隅まで覚えるという知識を重視する教科となりました。
国史(日本史)は近代国家としての国民統一の支柱として、共同のストーリーを共有するために設けられました。神話を源とする皇室の正当性として、これに奉仕した忠臣と反逆者という価値観で編纂されたもので、歴史観育成よりも、歴代の天皇の名前を暗唱するというストーリーを細かく暗記することが求められていました。
理科は博物学といつてもいいくらい多岐にわたった膨大な知識を暗記する科目で、なんと小学校四年から六年の三年間に学ぶ単元は1421(毎週1.5単元)ずつ進む必要があります。しかもその内容例を挙げると、小六の第八単元II塩酸、第九II硫酸、第十II青酸(シアニ化水素、第十一II苛性ソーダ水酸化ナトリウム)、と続き、金属単体も八種類をそれぞれの単元で学ぶなど化学系の大学の講義のようになっています。第二十五単元「熱と気体の圧力」ではボイル・シャルルの法則(現在高校化学の内容)の原理を勉強するといふ激しさで、しかもこれら全教科を一人の先生が教えたのですから当時の教員の知識も膨大なものだった事でしよう。
戦時を経て、現在では「修身」や「裁縫」のように教科名が変化したものや、「歴史」のように内容が大きく変わったものもありますが、教科の全体的な構造はこのように100年前から変わっていません。大学入試改革にも賛否両論がありますが、旧来の枠組みで作られた教科ごとのテストだけではこれからの世界に通用する人材が育たない、と考えた教育再生会議の委員の考えも理解できます。

藤山正彦のぶち教育学



こんにちは。藤山です。教育に関するお話をさせていただきます。
今回は、「教科」の成立についてお送りします。

皆様から頂いた アンケートを ご紹介します！

■2018年度合格体験記

- ・合格体験記を読んで、子どもにも是非参考にしてもらいたい目標をもってほしいものです。(喜連瓜破教室)
- ・合格体験記を読んで、自分もがんばろうと思いました。(今福鶴見教室)
- ・合格体験記をみることで、他の子の試験までの気持ちや試験を受けてみての結果、感想をきけてよかった。(緑地教室)
- ・「合格体験記」みなさん自分の決めた目標に向かっての頑張りが、自分にとっての夢を支えるそのパワーを見習ってほしいです。(南草津教室)
- ・合格体験記を読ませてもらうと夢に向かってみんな頑張っているのだなと感じます。それをしっかり言葉で表せていることがすごいと思いました。(上ヶ原南教室)
- ・合格体験記を読ませていただいて子どもの体験はもうろん保護者の方のメッセージがとても参考になりました。(瀬田駅前教室)
- ・合格体験記では、合格をつかみとるまでの先輩方の学習のようすが詳しくわかり、子どもに読ませたいと思いました。(玉造教室)
- ・大学合格体験を読み、ずっとフリーステップでがんばっていかせようと思いました。(西宮北口教室)
- ・合格体験記を読んでうちの子も勉強を頑張って第二志望に合格できたらなと思います。(高石駅前教室)
- ・「合格体験記」は参考になりました。苦手科目でも積み重ねが大事と再認識しました。(北千里駅前教室)
- ・「合格体験記」の高校入試の合格者の話が聞けて、自分も頑張ろうと思ったのでよかった。(摂津富田教室)

■大学の推薦入試について

・大学の推薦入試について、まだよくわかっていませんが、気になるそうです。(高槻北教室)

■大学教員一人当たりの学生数

- ・大学教員一人当たりの学生数を読んで、オープンキャンパスでは分からない情報なので面白かったです。(河内国分教室)
- ・大学教授一人当たりの事など知りませんでした。勉強になりました。(瓢箪山教室)

■学部座談会vol.3(経済学部、経営学部、商学部)

- ・「学部 座談会」が良かったです。大学で学ぶ内容がよくわかりました。(阪急茨木教室)
- ・高校2年生の娘と大学の学部について話したり、調べたりすることが多いので「学部座談会」がとても興味深い内容でした。講師の方たちのお話なので親しみやすく読みやすかったです。(千里丘教室)

・今回の学部座談会で講師の学部のことを知り、学校によってもこんなことを学ぶのかということを知ることができてよかったです。(宮山台教室)

・座談会の話しは、色々と勉強になるので、毎回座談会があればいいなと思いました。(香里園駅前教室)

・学部座談会の中の「可能であればどういう教授がいるかは知っておいた方がよい」というのは同感です。ゼミなどで所属することも考えて、教授陣を調べておくことが大切だと思います。(明石大久保教室)

■開成進学フェア2018

・9月17日の開成進学フェアを子どもと参加する予定なのでいろいろな学校の話しを聞いてみたいと思う。(高石駅前教室)

■関東フリーステップノートコンテスト

・ノートコンテストが気になった。もってノートの記入方法等、参考になる内容を読んでみたい。(日生中央教室)

・ノートコンテストの欄、興味深く拝見しました。(摂津富田教室)

・ノートの重要性が良く解りました。(六地蔵教室)

・「フリーステップノートコンテスト」がとても気になりました。子どもにどのようにノートを作るといいか教えて頂けたら嬉しいですね。貴生川駅前教室

・ノートコンテストの生徒さんのノートを見てきれいなノートだと感心しました。(下赤塚教室)

■先パイからのアドバイス

「高1・2生のみなさんコレだけはやってください」
・高1・高2生のみなさんコレだけはやってください。先輩方の話は何より参考になるようです。(香芝教室)

■関関同立答案作成練習会

・関関同立答案作成練習会、とても楽しみです。娘にも是非参加させ、本番にむけて自信をつけてもらえたらと思います。(阪神西宮教室)

■旧帝国大学の学生はどのような本を読んでいるか

- ・大学生の読書の傾向がとても興味深かったです。我が子にも勧めたいと思いました。自分も読んでみます。(高槻北教室)
- ・大学の推薦入試でも必要になってくる、自分の言葉で説明する事、作文などを利用して文章を考えていかなければいけないので、小さいうちから本を読むなどさせたい事がつなげていくのかなと思いました。(貴生川駅前教室)
- ・入試情報室よりの記事を読んで大学ごとに読まれている本のカテゴリーが違ふ事に驚きと納得をしました。我が子はあまり本を読む事をしないので本を読んで自己啓発につなげてほしいと思いました。(宮山台教室)

■ぶち教育学

・藤山先生のぶち教育学を楽しみに拝見させていただいております。今回のアフォーダンスのお話も興味深く人によるアフォーダンスは先生にも生徒にも大切だと思いました。生徒がやる気を出すためには教材選びも工夫が必要ですね。ゲーム機よりも面白い教材を楽しみにしております。(箕面教室)

・ぶち教育学「勉強の休憩は勉強しなさい」ととても参考になりました。最初の集中練習も大切だと思いました。(古川橋教室)

・ぶち教育学の熟達化。興味深く拝見しました。数学に疲れたら英語、飽きたら地理、物理…と気分転換に教科を変えて勉強は娘が実行していると聞いたとき、なるほどと思いました。(南草津教室)

・娘がアフォーダンスを高く保てるよう協力したいと思っています。(南草津教室)

■全体の感想

- ・中・高・大の受験の事がたくさん書かれているので毎回読んでいて参考になります。喜連瓜破教室
- ・先輩方の体験談でとても参考になりました。又、大学のベストセラーキングなども面白かったです。今から大学への準備をどうしたらよいか心構えが出来てよかったです。将来関関同立へ行けたらと思っているのでとても興味深かったです。(桃谷駅前教室)
- ・合格体験談等、初めて拝見しましたが、とても将来の参考になりました。ありがとございます。(喜連瓜破教室)
- ・毎回、どのページも読ませていただいていたためになるし楽しいです。(貴生川駅前教室)